CryptaTax

[illegible]

[illegible]PDF[illegible]

CryptaTax

www.cryptatax.com

General information, not tax advice

[illegible]

[illegible]PDF[illegible]

[illegible]

[illegible]5,000[illegible]2,000[illegible]3,000[illegible]

[illegible]

[illegible]3[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

損失の繰越し

今年の利益だけでは損失をすべて使い切れないこともあります。多くの税制では、未使用の損失を翌年以降に繰り越すことが認められており、一部の国では限定的に経常所得と相殺できる場合や、過去の年に遡って繰り戻すことができる場合もあります。今計上した損失は将来にわたって有効な資産となり得ますが、それを適切に管理しなければ、控除を放棄するのと同じことになります。

落とし穴：新たな低い取得価額

ハーベスト後に買い戻すと、新しいコインの取得価額は低くなるため、将来売却した際に大きな利益が発生します。したがって、ハーベストは節税というよりも繰り延べであることが多く、税金を年度間で平準化する効果があります。うまく活用すれば価値がありますが、軽率に行うと単に税負担を先送りにするだけで、頻繁な売買は手数料やスプレッドで節税効果を上回る可能性があります。

年末のルーティン

1. ポートフォリオを確認し、取得価額を下回っているポジションを特定する。
2. 居住国のウォッシュセールルールと損失相殺ルールを事前に確認する。
3. 買い戻しの制限期間に注意しながら、意味のある損失を確定する。
4. 損失と相殺した利益を記録し、繰り越した損失があればそれをメモする。
5. 年末近くに再確認する。その時点で初めて、その年の確定利益と評価損のある保有状況が明確になる。

ハーベストすべきでない場合

ハーベストが常に有益とは限りません。相殺すべき利益がなく、繰越も有用でない場合、損失を確定しても手数料とポジションを失うだけです。ウォッシュセールや短期間ルールが適用され、なおかつエクスポージャーを維持したい場合、必要な待機期間が適さないかもしれません。また、税金のために投資判断を曲げないでください。損失が価値を持つのは、売却という判断自体が投資として意味のある場合のみです。

CryptaTaxが実用的にする方法

CryptaTaxは、正確な取得価額に基づいて確定損益と含み損益を表示します。そのため、どの保有銘柄が損失を抱えているか、ハーベストした場合に純利益がどう変わるかを把握できます。また、ウォッシュセールの□イミングに適合するために必要な日付と取得価額を保持し、結果を申告用のレポートにまとめます。詳細は□ックスロスハーベストガイドをご参照ください。また、仮想通貨の税金計算ツールをお試しください →。

Disclaimer. [illegible]

Put these figures on autopilot at app.cryptatax.com

© 2026 CryptaTax. All rights reserved.